



【わたしの願いごとシート】について（説明書：患者用）

このシートは、意思表示をする能力のある患者さんが、将来、その能力を失った場合に備えて、**事前に人生の最終段階**（適切な治療をうけても回復の見込みがなく、死期が近いと判断された状態）における**医療・ケアに関する意思を書面にするもの**です。ご自分の意思を伝えることができなくなったときに「どうしてほしいのか」「どんなことはしてほしくないのか」などを、ご家族をはじめ、医療従事者に“最期まで自分らしく生きること”を伝えるために、自由に書くことができる『わたしの願いごとシート』を作成しました。ご自身が家族や医療者等へ書き残して伝えたいときや家族で話し合いたいときなどに、ぜひご活用ください。

＜シート記入にあたっての留意点＞

1. このシートは記入することだけでなく、ご家族などの大切な方々とご自身のもしものとき・最期のときについて話し合う過程（プロセス）が大切です。
2. シートはすべて記入しなくてもよく、現時点で記入できるところだけでも大丈夫です。あなたの考えやお気持ち、伝えておきたいことなどを書いてみましょう。
3. 記入されたシートの提出はご本人の自由です。医療者に提出した場合には、大切に管理させていただきます。（原本をあなたの診療録に保管し、コピーしたものを返却します。）
4. 人の気持ちは揺れ動き、変化するものです。お気持ちが変わった場合には、修正や撤回ができますので、新たなシートに書き直すことができます。その場合にはお近くの医療者にお声かけください。（当院のホームページからもダウンロードできます）
5. このシートには、法的な効力はありません。

このシートを提出して下さった場合には、私たち医療者は、あなたの意向として内容を尊重し、治療・ケアに関する方針を医療・ケアチームとして決定していきます。また、当院から他病院・他施設へ移る場合には、このシートの内容をもとに、お伝えさせていただきます。

なお、ご不明な点などありましたら、お近くの医療者にお声かけください。





【わたしの思いをつなぐシート】について（説明書：患者用）

年齢を問わず、健康な時から人生の最終段階をどのように過ごしたいかを考え、自分らしい人生を生ききるために家族をはじめ身近な人たちと話しあう取り組みのことを**アドバンス・ケア・プランニング（ACP）**といいます。「元気なうちに最期の時のことは考えたくない、いつまでも元気でいたい」と多くの方は思われるでしょう。しかし、医療の現場では、急病や病状の変化により人生の最終段階になった時に、ご本人の思いがわからなくなったり、伝えることができなくなったりすることが多くあります。そのために普段から自分の思いをご家族や周りの大切な人たちと共有しておくことがとても大切です。

2018年、厚生労働省は、ACPを普及させるために「**人生会議**」という愛称を付けて、家族や友人など身近な信頼できる人たちと、自らが望む人生の最終段階の医療やケアについて話し合うことの重要性が高まっています

そこで当院では、人生会議を推進し、患者さんご家族が、医療・ケアチームと話し合いのもと、それぞれの病期・病状に応じて、患者さんの意思と権利が尊重され、自分らしい生活が送れるように支援いたします。外来通院中や入院または入院予定のある患者さんが、ご自身のタイミングで思いを伝えたいときに、自由に書くことができる『**わたしの思いをつなぐシート**』というシートを作成しましたので、ぜひご活用ください。

＜シート記入にあたっての留意点＞

1. このシートは、あなたがご家族など周りの大切な方々とご自身の人生をどう生きるかについて思いを伝え、話し合うきっかけづくりになればと考えて作成しました。
記載されている内容以外にも、自分にとって大切なことや思いなどを繰り返し話し合うことをおすすめします。
2. このシートの記入や提出は、ご本人の自由です。もしも、医療者に伝えたいという場合には、お近くの医療者にお渡しください。その際には大切に管理させていただきます。（原本をあなたの診療録に保管し、コピーしたものを返却します。）
3. 人の気持ちは揺れ動き、変化するものです。希望や思いが変わった場合には、自由に何度でも変更や撤回ができ、新たなシートに書き直すことができます。その場合にはお近くの医療者にお声かけください。（当院のホームページからもダウンロードできます）

なお、ご不明な点などありましたら、お近くの医療者にお声かけください。



友愛記念病院



Yuai Memorial
Hospital